

広報 だんち

2019
11月号

NO. 454

(協) 焼津水産加工
センター 発行
焼津市惣右工門1280番地の2
編集・総務係
発行・令和元年11月27日
TEL・054-624-2111
FAX・054-623-3834

HP・<http://www.yaizufpc.or.jp/>

11月団地の言葉

「今こそ見せよう 団地一家の底力」

先月の台風19号による浸水被害からだいぶ復旧が進んできた実感がありますが、未だ「元通り」と言えない状況にある組合員もいることかと思えます。

被災後、多くのお取引先様や関係機関の皆様からお見舞いを頂戴した事をこの場をお借りして厚く御礼申し上げます。

復旧作業に時間や労力を割いている間に気付けば11月も下旬になり、年末の事を考えなくてはならない時期にきていました。

例年ですと恒例の「歳末謝恩即売会」のご案内を配信したり準備を進めている時期ですが、今月の定例役員会にて即売会開催の可否について上程した処「現時点で完全復旧に至っていない組合員もいる事を考慮すれば、まずは団地の復旧を最優先するべき」との判断から今年度は中止せざるを得

ないとの結論に至りました。

機関決定を受け翌日には例年出店下さっている企業の皆様にご案内を送付しましたが、継続を希望するご意見もいくつか寄せられ事務局としては大変心苦しく思います。

12月になったら毎年ご来場下さっているお客様に対し、どの様に中止をお知らせするかを考えなくてはなりません。

今回の被害を受け、どの組合員さんからも「今後は同様の規模の風雨が来ると想定して対策を考えねばならない」旨のご意見を多々頂きました。ただ、現時点で我々に出る事と言えば「低い場所にある物を高い場所に移す」であったり「車両は高い場所に避難させる」程度ではないでしょうか。「何十年に一度」だとか「一か月分の雨が半日で」などと報道されましたが、過去のデータがあまり参考にならない事態も起こり得る事から、今回の被害をベースに検討を進める他ないのでは・・・とも思うところですよ。

団地近隣の住宅も床上浸水や乗用車の水

没など甚大な被害を被っている事から「自治会として行政に治水対策を陳情したいので組合も一緒に声を上げて欲しい」旨の申し出もございました。

やはり抜本的な対策として河川改修等の治水対策を行政に進めて頂く事が一番現実的ではないでしょうか。

これから年末に向け、通常業務や年末商材の製造など団地の中も慌ただしくなってきましたが、まずは今月の団地の言葉にある通り「団地一家の底力」を発揮し完全復旧に向けて邁進したいと思えます。

今月の団地の言葉はマルハチ村松さんの作品です。

今月の紙面

P 2 11月の定例役員会／49期生入国・研修／監理団体主催の実習生親睦会を開催しました

P 3 「第71回中小企業団体全国大会」行われる／組合業務課が出席しました／管理者養成学校に参加して

P 4 団地見学者のご紹介

12月組合行事予定

12月9日(月)

定例役員会

12月の暦

12月22日(日)

冬至

◆11月の定例役員会◆

11月11日(月)午後、組合事務所にて定例役員会が開催されました。

1. 台風19号による団地内被害状況の報告と今後の対応について

去る10月12日の台風19号接近による団地内浸水被害について、10月末時点としての団地内被害報告(約222百万円)を行う。あくまでも概算であり、今後額は膨らんでくるとした。組合共同施設について、随時修繕、改善に取り組んでいく。また、マスコミ取材や行政等による被害調査も多くあり、一部企業にご対応いただいた。行政による被災支援情報は逐一連絡している。また、地元自治会とも協同して治水に関して各方面への要望を為していきたいとした。多くの企業については被災週に復旧を果たし、10月末に全ての組合員が復旧したと報告した。

2. 実習生受入事業の新送出機関との調印について

前回会議にて、新送出機関からの実習生受入の推進について了承されたことを受け、同日、会議に先立って調印式を行い、新送出機関(株)カケハシミヤンマー・タイン社長と、組合村松理事長とで契約書にサインを取り交わした。また、タイン社長はそのまま定例役員会の会議前に組合役員に対して挨拶をしていただいた。

3. 報告調整事項

「実習生受入事業関係4項目の報告」「人事採用関連の2項目報告」「歳末謝恩即売会の開催中止について」「静岡中央会の永年勤続等表彰について」他2項目、計6項目について了承。

◆49期生

入国しました◆

49期生男子11人、女子8人は予定より約半月ぐらい遅れで10月30日急遽中部国際空港より入国しました。

監理団体は大型バスをチャーターして、職員の2名で空港へ出迎え、当日午後来焼できました。

鯉節加工部の男子2名は、原因不明な理由で同時に入国できず、何時になるかは依然と不明なままです。

19名実習生のミヤンマー出身地は別々で、真面目、素朴な印象を受けました。

一か月集合講習の内、交通教室の開き、消防 防災の訓練、日本語の勉強及び日本の生活案内などの勉強を終了後、計176時間の勉強を経て、11月30日、各企業へ実習活動を開始する予定です。

受入れ企業はこの期生の入社を楽しく期待しております。



◆監理団体主催の

実習生親睦会を開きました◆

2019年11月10日時点で実習生の在籍合計人数は140名となりました。また11月20日付けで3号生4名の入国もあり、全体的な受入れ人数が増加しております。その中で、「団地一家」の組合運営方針に則りより良い実習環境を作るため、監理団体の主催で「実習生親睦会」と称して焼肉食べ放題大会を開きました。在籍者人数を考慮の上、11月10日と11月17日の2回に分けて実施しました。

監理団体、実習実施先、実習生の連動で、焼肉スタミナ太郎の店まで、各実習実施先の生活指導員、実習指導員に送迎を任せ、1回目は90名、2回目は89名の盛大な焼肉大会となりました。

最後にジャンケン大会を5回行い、勝った実習生5名にカップラーメンを1ケースずつ手渡しました。

今回の親睦会を通じてお互いに信頼関係を作り、ワンチームで実習活動を行う効果を期待します。



◆「第71回中小企業団体全国大会」行われる◆

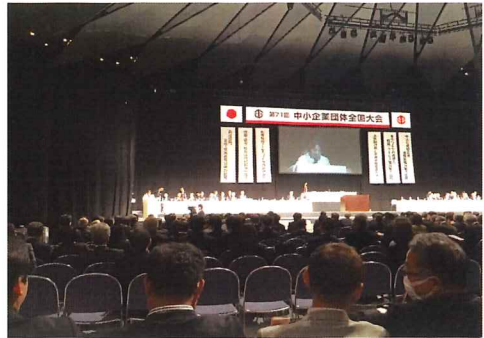
全国の中小企業

者或いはそれらで組織する中小企業組合等の総意を内外に知らしめ、政府等に実情と振興施策を訴え、中小企業の持続的な成長などをはかることを目的として年1回開催される。

今年度は鹿児島県にて行われ、全国から3千人が鹿児島市に集い、静岡県から当組合田村賢嗣監事と水野事務局長を含めて30名ほどが出席した。

「生産性向上支援等の拡充」「労働・雇用・社会保険料対策の推進」「(復旧・支援)災害対策の拡充」「積極的な事業活動を支える環境整備」の26項目について説明され決議されました。さらには決議内容を国に対して早期実現を求める大会宣言が高らかに宣され、満場の拍手のもとに採択されました。

当日は地元鹿児島県の県知事及び市長のほか、中央官庁の政務官・審議官ほか行政関係者、商工中金社長、ほか関係団体長など多くの来賓もご臨席され、盛大に執り行われました。



◆組合業務課が 出店しました◆

焼津市小川港にて 11月2日(土)に『小川港さばまつり』が開催されました。

小川港に水揚げされた 美味しいさばを炭火で焼いた“さばの炭火焼” 1万食配布には、今年も長蛇の列ができていました。

その他には、駿河丸の一般公開・そして賑やかなステージイベントに加え、

今年は、焼津の街並みや海岸沿いの景色を楽しみむことができる“ヘリコプター遊覧飛行”もありました。

業務課では、佃煮・かつおぶし等の人気商品を販売しました。

当日は天候にも恵まれ、イベント開始時間前から終了時間まで会場は多くのお客様で賑わっていました。

10月26、27日に岐阜県土岐市の美濃焼伝統工芸品まつりに出店し、組合員商品のカルシウム、かつお節、佃煮などを販売しました。来場者は自分好みの陶芸品を選んだり、陶芸作家の陶房を覗いたりして楽しみます。

そこに姉妹都市である焼津市の物産展コーナーが設けられおり、毎年市内の各団体が一緒にあって焼津の特産品をアピールしています。



◆管理者養成学校に参加して◆

業務管理部付

リ ブルース



私はこの3日間の研修で気づいた事、思った事が2つあります。

1つ目は、社会人としての基本的なことができていなかった事です。例えば仕事での報告ができていなかったり、仕事の正確さより早さを優先した結果ミスに繋がってしまったという事がありました。社会人としての責任感に欠けてしまったと思います。これを機に今までの自分を見直してできていなかったところをできるようにします。

2つ目は職場での人間関係はとても大切だと思いました。良い人間関係を築くためには、相手に対する礼儀や声の大きさ、明るさ、自分から話しかけることが大切だと気づきました。私は、声が小さいと言われる事があります。声が小さく暗かったりすると悪い印象を相手に与えてしまいます。研修の時は挨拶や返事の時の声の大きさを意識していましたが研修の時だけで終わらせず、これからも声の大きさを意識しながら仕事に取り組んでいきます。

§ 2019年(1~9月計)の輸出入

※輸出はFOB 価額、輸入はCIF 価額

※財務省貿易統計データより

<輸 出>		2019年		2018年	
		数量 t	価額 (千円)	数量 t	価額 (千円)
タ	イ	17,207	2,337,816	24,822	3,984,284
フ	イ	1,311	226,964	662	116,820
イ	ン	999	133,875	1,051	185,869
計		20,003	2,780,604	28,100	4,561,367

<輸 入>		2019年		2018年	
		数量 t	価額 (千円)	数量 t	価額 (千円)
イ	ン	22,275	3,378,787	11,727	2,075,863
ブ	ル	558	65,634	47	4,673
ベ	リ	543	78,370	1,659	212,657
計		24,438	3,688,672	18,923	3,059,612

FOB (Free on board)

買手の指定した本船に商品を積み込むまでの費用を売り手が負担する条件

CIF (cost, insurance and freight)

買主指定の輸入港までの運賃と保険料を付け加えた条件

東京市場ドル円	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2018年 高値	113.18	110.29	106.99	109.49	111.39	110.90	113.14	112.15	113.67	113.34	114.21	113.82
安値	108.51	105.55	104.64	105.70	108.36	108.73	110.27	109.78	110.39	111.69	112.40	110.00
月末仲値	108.79	107.37	106.24	109.35	108.70	110.54	111.01	111.06	113.57	113.26	113.47	111.00
2019年 高値	109.87	111.13	112.01	112.24	110.85	108.70	108.99	109.32		109.07		
安値	107.52	108.73	109.70	110.88	109.15	106.78	107.22	104.46		106.69		
月末仲値	108.96	110.87	110.36	112.28	109.57	107.79	108.64	106.46		108.88		

冷凍かつお月末在庫量	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
2019年(単位:t)	24,786	23,733	22,475	24,152	26,527	24,516	26,186	28,293	26,559				227,227

情報

§ 国内主要漁港市場の水揚 (2019年1~9月計)

※水産庁統計データ
産地水産物流通統計より

<生カツオ>	2019年		2018年		前年比%	
	数量 t	単価	数量 t	単価	数量	単価
<生カツオ>	36,910	289 円	40,922	291 円	90%	99%
<冷カツオ>	152,574	172 円	157,121	193 円	97%	89%
<カツオ合計>	189,484	195 円	198,043	213 円	96%	92%

§ 焼津水揚 (2019年1~10月累計)

※焼津漁業協同組合統計データ
取扱高対比表より

<1本釣カツオ>	2019年		2018年		前年比%	
	数量 t	単価	数量 t	単価	数量	単価
<1本釣カツオ>	12,465	223 円	12,147	251 円	103%	89%
<巻網カツオ>	66,932	143 円	70,246	168 円	95%	85%
<カツオ合計>	79,397	156 円	82,393	180 円	96%	87%

団地見学者のご紹介



富士市立田子浦小学校の
皆さん

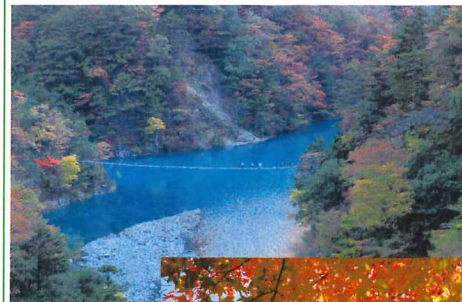
裾野市立西小学校の
皆さん



今月の1枚



寸又峡



紅葉

